



みなと環境にやさしい事業者会議  
minato eco-conscious consortium

## 2018年度活動報告書



### meccカーボンオフセット

meccでは、会員事業者向けのサービスとして、カーボンオフセット用の二酸化炭素の排出権を2008年に100トン分購入しました。すでにさまざまな事業活動(報告書印刷、イベント運営等)のオフセットにご活用いただいています。2018年度末までの償却分は55トンとなっており、2019年度以降の償却分として45トンが持ち越されています。

#### 2018年度使用実績

◎ イベント運営 エコライフ・フェアMINATO 2018

◎ 印刷物製作 mecc活動報告書(本誌)

mecc会員事業者であれば、mecc保有のカーボンオフセットをご使用いただけます。ぜひご活用・ご相談ください。



この印刷物は、環境に配慮したグリーンプリンティング認定工場で作りました。森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立つ「森の町内会・間伐に寄与する紙」、VOC発生量を低減できる「植物油インキ」、イソプロピルアルコール(VOCの一種)等を含む有害廃液を出さない「水なし印刷」を使用しています。また、CTP(Computer to Plate)方式の採用により製版用現象液やフィルムを全廃しています。



### みなと環境にやさしい事業者会議 2018年度 活動報告書

発行 みなと環境にやさしい事業者会議  
〒105-0013 東京都港区浜松町1-13-1 エコプラザ内(3F)  
TEL 03-6806-9280 FAX 03-6806-9282  
Mail info@mecc-minato.net

発行日 2019年5月16日

製作 みなと環境にやさしい事業者会議 事務局

## ごあいさつ

みなと環境にやさしい事業者会議におかれましては、「打ち水大作戦」や「企業と環境展」など、事業者・区民・区の協働の場となる様々な活動に積極的に取り組んでいただいております。これまでの活動に対し、厚く御礼申し上げます。

全国的に人口減少が進行する中、港区の人口は26万人に迫り、区政80周年を迎える8年後には30万人に達する見込みです。人口が増加し、さらに経済活動が活発になることで、今後も温室効果ガス排出量やエネルギー消費量の増加が見込まれています。

区は、環境負荷の少ない再生可能エネルギーの利用を促進するため、昨年4月から福島県白河市と連携し、白河市の太陽光発電によって作られた電気を区有施設へ供給してきました。

今年度からは、山形県庄内町の風力発電、青森県平川市の木材資源を活用したバイオマス発電によって作られた電気を、区有施設に導入することで、環境負荷の少ないまちづくりをさらに推進しています。

今後も、再生可能エネルギーをはじめ、新たなエネルギーとして期待されている水素エネルギーの普及促進、中小ビルの省エネ取組の支援等の施策を着実に進めてまいります。

また、来年に控えた東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を好機ととらえ、区民をはじめ区を訪れる誰もが快適に過ごせるよう、暑さ対策や資源の再利用など、必要な対策を講じてまいります。

会員事業者の皆様におかれましても、環境負荷の少ない社会経済活動への転換について、一層のご協力をお願いします。今後も、会員事業者の皆様の環境問題解決に向けた取組みを通じ、みなと環境にやさしい事業者会議の活動が益々発展されることを祈念いたします。



港区長

武井 雅昭

平成18年5月に設立されたみなと環境にやさしい事業者会議(mecc)は、日本の環境分野をリードする会員事業者の皆様とともに歩みを進めてまいりました。会員事業者の皆様には、事業者会議の運営に多大なるご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成29年5月に締結した「みなとタバコルール連携協定に関する協定書」を受け、「企業と環境展」では、みなとタバコルールアイデアソンを実施するなど、たばこを吸う人も吸わない人もともに快適に過ごせるまちづくりの推進に協力してまいりました。今後も区と連携し、「みなとタバコルール」の普及啓発に努めてまいります。

さて、昨今ではSDGs(持続可能な開発目標)やパリ協定に象徴される持続可能な社会への移行を促進する国際的枠組みが確立されつつあり、環境・経済・社会課題の統合的な解決を目指すことが求められています。

このような中で、私たちはより一層多角的な視点から環境保全活動などに取り組んでいく必要があります。

みなと環境にやさしい事業者会議は、大切な地球環境を守り、次世代に引き継いでいくため、区民、区、事業者の皆さんと協力し、様々な事業に積極的に取り組む必要があると考えております。今後も、区を取り巻く状況を踏まえつつ、引き続き「環境先進都市港区」の実現に向け、様々な取組みを展開していきたいと考えております。皆さんのより一層のご協力をお願いいたします。



みなと環境にやさしい  
事業者会議会長  
港区副区長

小柳津 明

## 設立趣旨

21世紀に入り、異常気象の多発、北極や南極の海水の溶解、砂漠化の進行など地球温暖化の影響はますます深刻さを増しています。豊かな自然を守り、かけがえのない地球を次世代に引き継いでいくのは、わたしたちみんなの責務です。

利便さや快適さを求める大量生産、大量消費、大量破棄という社会スタイルを、市民、企業、行政をはじめとしたあらゆる個人、組織が、それぞれの立場で真剣に考え、環境にやさしいライフスタイルへと転換していく必要があります。

港区は、東京の中でも企業や各種団体の本部機能が集中しています。この特徴を生かして事業者と区民と区が連携し新しい協働の場を確立できれば、これまでにない環境保全活動の取組みとして「みなとモデル」を全国に発信することができるでしょう。ひとつの地域での取組みが、世界を変えていくほどのうねりになる。「みなと」という地域に集うわたしたちのネットワークは、そんな大いなる可能性を秘めていることでしょう。そうした新しい連携を可能にする土台として「みなと環境にやさしい事業者会議」は平成18年5月に設立され、今年で14年目を迎えます。

「みなと」にかかわるすべてのパートナーシップの要として、生きた情報と知恵の受発信が行われる前線基地として、そして個々の事業者にとっては地域と地域環境への貢献を同時に推進できるひとつの拠り所として。業種も立場も異なるさまざまな事業者たちが同じ目線で出会える場に、環境に対する互いの意識を高めあえる場に、そしてアイデアが次々とカタチになっていく活気のある場になりたいと思います。

この趣旨にご賛同いただけるひとりでも多くの事業者の方に仲間に加わっていただければ幸いです。わたしたちが手をたずさえることで生まれる力が、地球環境問題を根本的な解決にむかわせる希望となることを期待して。

## 2018年度活動報告書目次

### meccとは

- 01 ごあいさつ
- 02 設立趣旨
- 03 活動カレンダー & マップ
- 04 mecc総会

### よりよい環境づくりを目指して

- 05 2018年度TOPICS! ○港区内積み木贈呈式 ○みなと区民まつり
- 06 meccエコバザー
- 07 企業と環境展 ○実施概要 ○シンポジウム・事例発表  
○親子ワークショップ ○U-25みなとタバコルールアイデアソン

- 13 みなと打ち水大作戦
- 15 みなとクリーンアップ大作戦
- 16 スポGOMI大会inみなと

### 環境意識をより高めるために

- 17 meccセミナー
- 19 mecc EXPO
- 20 meccツアー

### ご入会案内

- 21 meccに参加するには?
- 22 会員一覧

## 2018年度 活動カレンダー & マップ

- |       |         |                                     |
|-------|---------|-------------------------------------|
| 2018年 | 5月19日   | ① エコライフ・フェアMINATO2018・エコバザー         |
|       | 23日     | ② 総会・第1回meccセミナー                    |
|       | 7月18日   | ③ 第2回meccセミナー                       |
|       | 20日     | ④ 芝公園打ち水大作戦                         |
|       | 21日     | ⑤ みなとクリーンアップ大作戦                     |
|       | 8月 1日   | ⑥ 日比谷通り打ち水大作戦                       |
|       | 2日      | ⑦ ハマサイト打ち水大作戦・エコバザー                 |
|       | 21日     | ⑧ お台場打ち水大作戦                         |
|       | 10月 6日  | ⑨ みなと区民まつり・エコバザー                    |
|       | 13日     | ⑩ スポGOMI大会inみなと                     |
|       | 11月 9日  | ⑪ 企業と環境展 シンポジウム・事例発表                |
|       | 10日     | ⑪ 企業と環境展 U-25タバコルールアイデアソン・親子ワークショップ |
|       | 11日     | ⑪ 企業と環境展 親子ワークショップ                  |
| 2019年 | 1月4~30日 | ⑫ meccEXPO                          |
|       | 24日     | ⑬ 第3回meccセミナー                       |
|       | 2月13日   | ⑭ 港区立保育園 積み木贈呈式                     |
|       | 3月13日   | ⑮ 第2回meccツアー                        |

※6月20日 第1回meccツアー、8月8日 赤坂打ち水大作戦、10月7日 みなと区民まつり(2日目)は、雨天のため中止となりました。  
⑮については区外にて見学



## mecc総会

### 会員事業者が一堂に会し2018年度の活動プランを話し合いました。



5月23日、慶応義塾大学・芝共立キャンパスにて、武井港区長、mecc会長・小柳津副会長、会員37事業者の出席の元、2018年度総会を開催しました。

冒頭、武井港区長から再生可能エネルギーの話題にふれられ、「低炭素社会の実現するために、環境負荷低減に向けてさまざまな施策を推進し、区民との事業者の連携を深め、環境にやさしい活力のある安心、快適な街の実現するために会員事業者の環境問題に対する高い意識と全国に先駆けた取組みを発信し、mecc活動に協力して頂きたい」とご挨拶をいただきました。小柳津副会長からは、「mecc活動は会員事業者の協力のもと成り立っている。mecc会員事業者と区民、地域がより結ばれていると感じている」と感想を述べられました。また港区で行なっている環境施策について説明がありました。



続いて2017年度の会計収支と活動報告を事務局から行い、映像をはさみながら活動の報告を行いました。事務局から説明した2018年度事業計画等は、すべて満場一致で可決されました。

総会終了後に行われた第1回meccセミナーでは、SDGパートナーズ株式会社 代表取締役CEO 田瀬氏から「SDGsの現状と展望～SDGsを活用して、飛躍するために～」をテーマに講演いただきました。

田瀬氏は、SDGsを「人類の生存戦略の1つの到達点」や「環境と持続可能な流れにマッチングした長期共存戦略」と位置付けていました。17分野169の壮大な目標を立てたことは評価できますが、法的拘束力がない点や実現方法や財源も特定されていない点など課題点もあるそうです。企業がSDGsを経営戦略として取り組んでいく方法などをお話いただきました。



総会終了後には、参加事業者から自己紹介を兼ね各社のCSR活動や悩みなどを発表いただく時間を設けました。参加全事業者で情報交換を行い、事業者同士のネットワークが広がる機会となりました。



- 日時:2018年5月23日(水)15時30分~17時30分
- 講師:SDGパートナーズ株式会社 代表取締役CEO 田瀬和夫氏
- 参加事業者:アクセンチュア、NJS、NECキャピタルソリューション、エムオン・エンタテインメント、大林組、オイシックス・ラ・大地、鹿島建設、カワセ印刷、サントリーホールディングス、ダイフク、知識経営研究所、都築電気、DSM、テクノプロ・ホールディングス、東京ガス 中央支店、東京放送ホールディングス、ニコン、西松建設、日本自動車連盟、日本通運、日本電気、博報堂、PHC、フィリップ モリス ジャパン、プロネクサス、文化工房、文星閣、ベネッセコーポレーション、三井倉庫ホールディングス、三菱自動車工業、港区、明治学院大学、森永乳業、森ビル、ヤマハ、横浜ゴム、リコージャパン (57名参加)



エコバザーの売上げで、間伐材を使った積み木を寄贈



これまでmeccではバザーなどの売上げを積み立て、港区内の施設に環境に配慮した製品の寄付を行っており、今年度は2013年度に続き2度目の寄贈となりました。北海道津別町の「間伐材を使った積み木」を購入し、港区立保育園(15カ所)に3セットずつ寄贈しました。保育園を代表して、港区立芝公園保育園で寄贈式を行い、meccからは、幹事事業者4社が参加しました。

を行った後で園児代表3名に積み木を贈呈しました。子供たちからは「大切に使います。ありがとうございました」とお礼の言葉があり、積み木を使って遊び始めると楽しそうな声が響き渡りました。

- 日時:2019年2月13日(水)14時00分～14時20分
- 会場:港区立芝公園保育園
- 参加者:mecc幹事 4事業者、mecc事務局(合計9名)

少し興奮気味の子供たちに対して、meccの活動や森の勉強会



「みなと区民まつり」に初出展



meccとしてみなと区民まつりに初出展しました。会員事業者提供のバザー品の販売のほか、mecc活動のパネル展示を行いPRしました。meccブースには早くから多くの来場者があり、常に来場者がいる状況で大盛況でした。来場者には環境意識調査のアンケートに協力いただき、回答者にはmecc活動報告書を配布し、最終的に300冊を超える報告書を配布することができました。

なと区民まつりは、mecc活動をアピールしながら区民とのコミュニケーションを図れる良い機会となりました。

- 日時:2018年10月6日(土)11時00分～17時00分
- 会場:港区芝公園一帯

アンケートでは区民の環境に対する意識の高さを感じました。み

meccエコバザー

こどもたちの笑顔につながる、エコバザー活動!

今年度は、エコバザーを3回実施しました。会員事業者から洋服や日用品、書籍などさまざまな物品を提供いただきました。売上金を利用して、港区内の施設に環境に配慮した製品の寄付を行っており、港区立の保育園15カ所に積み木セットを寄贈しました。

みなと区民まつり 東京タワーの足元でmecc活動をアピール!



バザー品の販売とともに環境に関するアンケートを実施。回答者には森ビル提供の災害備蓄食品のサンプルを配布しました。年配の方や親子連れの姿が多く、日用品が多く売れました。

- 日時:2018年10月6日(土)11時00分～17時00分
- 会場:港区芝公園一帯
- 燃料電池自動車展示・地球温暖化対策担当 meccブース
- 売上げ:24,540円

ハマサイト打ち水大作戦 書籍売上げNO.1会場!



猛暑の中での実施でしたが、ランチに訪れる会場近隣の会社員や、打ち水に参加する会員事業者が多く足を止め賑わいました。他会場に比べ圧倒的に書籍が売れるのが特徴です。

- 日時:2018年8月2日(木)13時55分 打ち水開始 14時10分 終了
- 会場:浜松町駅北口交通広場(ハマサイト広場)
- 売上げ:2,900円

エコライフ・フェアMINATO2018 野菜、日用品、ベビーグッズなど完売!



毎年エコバザーを楽しみに開店前から来場してくださるリピーターも多い会場です。また、会員事業者もプライベートで立ち寄るなど、meccブースへの関心が年々高まっています。

- 日時:2018年5月19日(土)10時15分～15時00分
- 会場:港区立有栖川宮記念公園
- エコライフ・フェアMINATO2018 meccブース
- 売上げ:72,400円



- 提供事業者:鹿島建設、東京ガス、森永乳業、森ビル、JAF、ROSSO、港区
- 野菜提供:らでいっしょぼーや(エコライフ・フェアMINATO2018のみ)
- ※毎年実施している「みなとクリーンアップ大作戦 エコバザー」は、会場変更と猛暑のため中止としました。



リサイクル活動がこどもたちの環境への関心につながるという取組みに賛同し参加をしました。弊社は小さな会社ですが、声をかけ多くの商品が集まり社員の意識も高くなったと思います。またこれを機に社内の備品の見直しも出来たので良かったです。

## 企業と環境展

企業と環境展 シンポジウムや会員事業者が提供する若者向けの環境プログラムを開催

企業と環境展は、会員事業者と港区民をつなぐmecc最大の環境イベントです。六本木ヒルズで開催をすることから、多くの区民に取組みをアピールできるほか、親子ワークショップは毎年定員を超える応募があるなど人気のプログラムとなっています。また、初日のシンポジウムには一般の参加希望者が増えつつあり、環境意識の高まりと企業と環境展の役割を感じます。

プログラム ●日時:2018年11月9日(金)～11日(日) ●会場:六本木ヒルズ2階「ヒルズカフェ/スペース」 ●特別協賛:森ビル

- |  |  |
|--|--|
| <p><b>1日目</b> 11月9日(金)</p> <p><b>2日目</b> 11月10日(土)</p> <p><b>3日目</b> 11月11日(日)</p> | <p><b>【会長挨拶】</b><br/>みなと環境にやさしい事業者会議会長/港区副区長 小柳津明</p> <p><b>【シンポジウム1】</b><br/>「SDGsはなぜビジネス機会か?」 Japan Innovation Network 西口尚宏 氏</p> <p><b>【会員事例発表】</b><br/>「ビジネスチャンスとしての持続可能性～SDGsと事業成長の両立～」 DSM 栗木研 氏</p> <p><b>【シンポジウム2】</b><br/>「SDGs達成に向けたイノベーション戦略とイノベーション創発の仕組み」 沖電気工業 横田俊之 氏</p> <p><b>【U-25限定 みなとタバコルール アイディアソン】</b><br/><b>【親子で学ぶ環境ワークショップ】</b><br/>「東大生と学ぶ環境ワークショップ「電気」と「発電」を学ぼう!」 提供:ベネッセコーポレーション</p> <p><b>【親子で学ぶ環境ワークショップ】</b><br/>「世界にひとつ自分だけの森のカスタネットをつくろう」 提供:ニコン<br/>「ココナッツでリップクリームをつくろう」 提供:オイシックス・ラ・大地<br/>「ガス管を使ったリサイクル万華鏡づくり」 提供:東京ガス</p> |
|--|--|

### 会員事例発表

#### ビジネスチャンスとしての持続可能性～SDGsと事業成長の両立～



参加事業者の声  
**DSM 多賀氏**

Royal DSMは、栄養、健康、持続可能な暮らしの分野において事業を展開する「purpose-led」(目的主導型)のグローバル企業です。私たちは、経済的な成功と社会の課題解決は両立できるものと信じています。DSMの目的は、私たち自身の目標、そしてSDGsとし

会員事例紹介として、DSM株式会社 栗城研氏に登壇いただきました。

DSMの事業分野と戦略は、SGDsと市場のメガトレンドに密接にリンクさせ、会社として「自社のプロセス・フットプリントの改善」「製品/サービスに通じた、顧客や世の中の持続可能性への貢献」「市場改革への発信・リード」の3つのアプローチを行っていました。その中でも一番取り組まれていたのが、市場改革への発信・リードです。2017年3月には、日本にて「環境経営フォーラム」を開催し顧客・パートナー企業・団体官庁と共に議論を行ったり、環境省、経済産業省、気球環境戦略(IGES)、グローバルコンパクト、JCLPなどの団体と協業するなど世界に発信し、2017年米有力ビジネス誌『フォーチュン(FORTUNE)』で世界を変える企業の2位に選出されるほど積極的に活動されていました。

掲げられた目標を達成することによって、すべての人にとって明るい暮らしを創造することです。そのためには、さまざまなステークホルダーと協働しながら、提唱していくことが必要だと考えています。

### シンポジウム1

#### SDGsはなぜビジネス機会か?



参加事業者の声  
**エムオン・エンタテインメント 合馬氏**

「現在のビジネスに当てはめるのではなく、SDGsの視点でビジネスを見直してインキュベーションにつなげることが重要」という西口氏の解説は、とても心に残っています。この視点を学べたことで、自分のよりどころを見つけることができました。

最初のシンポジウムは、一般社団法人Japan Innovation Network専務理事 西口尚宏氏に登壇いただきました。西口氏は2016年から国連開発計画(UNDP)との共同プラットフォーム「SHIP(SDGs Holistic Innovation Platform)」の運営を行なっています。

まず、SDGsとMDGsの違いに触れました。MDGsは途上国が対象だったのに対し、SDGsは、世界の全ての国が対象になります。そうなることで潜在マーケットとなりうる“差分”が国ごと、地球規模でどれだけ大きいか、想像できると解説されました。またSDGsは、実効性の開発目標であり、人々を巻き込むこと、達成度を測る指標(KPI)が必要とのことです。

ビジネスとして考えた時にまず、“大目的”を駆動させるための具体的な“中目的”にブレークダウンさせ、中目的を実現させるための技術的な目的や個人的な“小目的”に細分化して、その中から自社にあった目的を事業として取り組むと、実現可能な目標設定がしやすいとのことでした。また、自社で取り組むだけでなく多様なステークホルダーを巻き込みつつ協業のイノベーション活動が軸になり、自前主義からの脱却とイノベーション活動の加速が必要と講演されました。

### シンポジウム2

#### SDGs達成に向けたイノベーション戦略とイノベーション創発の仕組み



参加事業者の声  
**プロネクサス 奈須野氏**

“Yume Pro”で会社を変える!という強い信念に感動。そして「従来BtoB企業として、お客様第一主義でやってきた。今は、社会的課題に目を向けたいとお客様ニーズに応えられない」というメッセージが同じBtoB企業として、グサッときました。

最後の登壇者は、沖電気工業株式会社執行役員 横田俊之氏です。Apple、Google、マイクロソフトなど、先進的なグローバル企業が名を連ねるトムソン・ロイター「TOP 100グローバル・テクノロジー・リーダー2018」。その1社として選出されているのが沖電気工業です。2017年10月にイノベーション推進プロジェクトチームが発足。2018年4月には、イノベーション創出活動「Yume Pro」という取組みがスタートし、沖田氏がリーダーを務めました。同社が一番問題視していたのは、「会社のビジョンはあるものの事業部ごとの方向性が不明確」ということでした。そこでまず取り組んだことは社員のインタビューです。お客様の声に一生懸命耳を傾けるだけでは不十分で、お客様の先にいるエンドユーザー、その背景となる社会の変化を押さえなければ、課題解決が難しい時代になったことに着目し、目の前のことだけでなく、SDGsに掲げられている社会課題を解決することを、事業創出の目的に置いていました。2018年度からは、10社程度のイノベーションパートナーと共創合意をし、プロジェクトを進めているそうです。大企業やベンチャー/スタートアップなど、同じようにビジネスを通じて社会課題解決したいと思っている企業とパートナーシップを結んで活動をされていました。

## 企業と環境展 親子ワークショップ

企業の取り組みを知ってもらいながら、親子で環境について学びます

ベネッセコーポレーション（協力：東京大学CAST）

### 東大生と学ぶ環境ワークショップ「電気」と「発電」を学ぼう！



現役の東大生が講師となり、「電気」と「発電」について実験を通して学びました。電気を通すものと通さないものの性質や、発電や蓄電など、座学では低学年の子供たちには難しそうでしたが、東大生がサポートをしながら実際に実験をして電気がつくと、驚きと楽しそうな声が響いていました。また、発電が上手くできなかった時は素材や配線を変えてみるなど、それぞれに工夫して電気をつけようとする姿が印象的でした。

提供事業者の声  
ベネッセコーポレーション 孫氏

いろいろな発電実験に目を輝かしながら参加したお子さんたちが電気の大切さに気づき、日ごろの生活の中で節電できるようになるとともに、環境にいい発電とは何か？を考えて大人になって再生可能電力を使ってくれと嬉しいです。

オイシックス・ラ・大地（協力：ココウェル）

### ココナッツでリップクリームをつくろう



「ココナッツ博士を目指そう！」と題して、スライドを使いながらクイズ形式で、ココナッツの産地や特徴、さまざまな加工品やそれらを生産する現地の人たちの生活環境について幅広く学びました。後半は実際にココナッツオイルを使用してリップクリーム作りを行いました。みつろうが溶けていく様子や、香り付け用のアロマエッセンスの香りを選んだり、パッケージのシールに名前や自分で考えた商品名を書いたり、楽しんでいました。

提供事業者の声  
オイシックス・ラ・大地 秋元氏

ココナッツのことを学んだあと、リップクリーム作りにチャレンジしました。ラベルも自分で作り、世界でひとつのリップが出来上がりました。ココナッツに親しんでもらいながら、環境にも興味を広げてもらえました。

ニコン（協力：日本自然保護協会）

### 世界にひとつ自分だけの森のカスタネットをつくろう



ニコンが支援している生物多様性復元計画「赤谷プロジェクト」。前半は、群馬県みなかみ町にある「赤谷の森」での取り組みを、森に生息する動物たちのクイズをまじえながら紹介しました。後半は「赤谷の森」の倒木や間伐材から生まれた無垢材のカスタネットに絵を描いてオリジナルのカスタネットを作りました。保護者と相談をしながら赤谷の森の動物や草花を描く姿もありました。最後は全員で歌いながらカスタネットを叩き、楽しい時間となりました。

提供事業者の声  
ニコン 立木氏

思い思いに絵を描いたり色を塗ったりして、大作がたくさん出来上がりました。私たちが応援する赤谷の森の環境活動から生まれたカスタネットを鳴らすたび、子供達が森の大切さを思い出してくれると嬉しいです。

東京ガス 中央支店

### ガス管を使ったリサイクル万華鏡づくり



暮らしの中の身近なエネルギー「ガス」。ガスが自宅に届くまでの過程や、今は腐ることもなく、地震にも強いポリエチレン性のガス管が使われていることなどを学びました。後半は実際に使用されているガス管の端材を使って万華鏡作りを行いました。素材となるビーズやモールを選び、模様の出かたを確認しながら夢中で作っている様子が印象的でした。外装も折り紙などで飾り付け、仕上がりを楽しんでいました。

提供事業者の声  
東京ガス 中央支店 堀田氏

工事等で不要になったガス管を利用してオリジナル万華鏡を作りました。東京ガスの仕事や弊社の環境への取り組みを知っていただいた上で、親子で楽しみながら工作に取り組んでいただけたのでよかったです。

## 企業と環境展 U-25

高校生から社会人(25才以下)向けのアイデアソンを開催

### 港区「みなとタバコルール」の広報アイデアを出し合いました



11月10日は、今年度初のイベント「U-25タバコルールアイデアソン」を開催しました。アイデアソンとはアイデアとマラソンを組み合わせた造語で新しいアイデアを生み出すイベントです。

今回の参加者は、高校生から25才以下(U-25)の社会人までの18名。5チームに分けてワークショップを開始しました。

最初に、みなとタバコルールの内容を勉強します。成立ちから現状の問題などを港区環境課・松原さんから紹介いただきました。そのあとに、ファシリテーターからタバコやプラスチックゴミが体に及ぼす影響とイノベーションの起こしかた、たとえばゴミを拾うことが重要ではなく、ゴミを捨てる人をどうやって減らすのか、などを学びました。説明を受けたあとで、各チームに分かれて気づきをまとめていきます。みなとタバコルールは街中のいろいろなシチュエーションで考えられるので、繁華街、ビジネス街、駅、公園、路地裏と5つのパターンでワークショップを行いました。

発表では、タバコを捨てさせないためのさまざまなアイデアが出ていました。

その後、みんなでゴミ拾いをスタート。meccオリジナルピブスを着用して六本木ヒルズ周辺を掃除しました。



- 日時:2018年11月10日(土)10時30分～
- 会場:ヒルズカフェ
- 参加者:18名
- ファシリテーター:  
CATs Cleanup & Compost Club Leader / 530week Director 中村元気  
SDGsライター/ダイベストメント・コミュニケーター 松尾沙織  
NPO法人 greenbird 渋谷チームリーダー 沢登公孝

## 企業と環境展 制作物一覧

企業の取組みを知ってもらいながら、親子で環境について学びます

### テーブル広告・資料展示コーナー

### カフェを訪れた一般のお客様にも活動を知っていただきました



会場入り口にはプログラムを大きく掲出。通行人のアイキャッチにもなり、当日参加の問い合わせも多く頂きました。



カフェ中央には資料コーナーを設け、事業者のCSR報告書などを展示・配布しました。カフェ利用者が手に取って読む姿も見られました。



カフェのテーブルには、事業者の環境広告を掲出しました。日頃の活動報告や環境対策商品の紹介、環境クイズなどがあり好評でした。  
○参加事業者:オイシックス・ラ・大地、世紀東急工業、東京ガス 中央支店、ニコン、日本自動車連盟、日本通運、プロネクサス、ベネッセコーポレーション、港区、みなと環境にやさしい事業者会議、森ビル



親子ワークショップのチラシ。港区内の小学校と公共施設に配布し募集を行いました。今年も定員を超える応募を頂きました。

### meccギャラリー

### 港区の自然を再発見!

港区の自然や生物多様性をテーマにした写真を一般公募しました。また、今年度は港区との連携で「みなと環境アプリ」に投稿された写真も展示しました。前年度よりも展示スペースを拡大し、応募いただいた写真愛好家も会場を訪れ、カフェ利用者も展示を楽しむなど、多くの人で賑わいました。ギャラリーコーナーには事業者の環境ポスターを展示し、事業者の取組みもアピールできる場となりました。



## みなと打ち水大作戦

会員事業者だけでなく一般参加も多い、夏の看板イベントです

### 第1回 芝公園打ち水大作戦

#### 東京タワーを背景に園児たちが元気に打ち水!



会員事業者のほか、近隣の保育園に通う園児たちが参加しました。明治学院大学アナウンス研究会の学生が打ち水の必要性についてわかりやすい説明を聞いたあと、一斉に打ち水を開始。園児たちは保護者とともに「涼しいね!冷たいね!」と汗をかきながら元気いっぱい打ち水をしました。打ち水には芝浦水再生センターの二次利用水を使用しました。

参加事業者の声  
横浜ゴム 長谷氏

当日は快晴で暑く、打ち水日和となりました。炎天下のため、通行人が少ないように感じられましたが、園児たちが元気一杯水を撒いていたのが印象的でした。水の用意等準備が大変だったと思います。貴重な経験となりました。

- 日時:2018年7月20日(金)16時00分 打ち水開始 16時15分 終了
- 会場:区立芝公園
- 主催:港区
- 後援:みなと環境にやさしい事業者会議
- 参加事業者:明治学院大学、港区、横浜ゴム
- 総参加者数:49名(一般参加者含む)

### 第2回 日比谷通り打ち水大作戦

#### 日比谷通りに並んだ140人が一斉に打ち水!



雨天のため2年連続で中止となっていました。今年度は念願の開催となりました。140名の参加者が日比谷通りに一列に並び、合図とともに一斉に打ち水をしました。外国人の一般参加者からは「日本の打ち水文化に興味を覚えた。異業種の企業が集まり環境への取組を一緒に行っていることが素晴らしい」という感想がありました。この会場は、芝浦水再生センターの二次利用水のほかに、三菱自動車工業と港区から提供の消費期限が迫った防災備蓄水を利用しました。

参加事業者の声  
森永乳業 長井氏

近隣企業から多数参加するので、水まきの瞬間はまさに壮観!いち企業だけでは難しくても何社が集まることによって大きなインパクトが出せると実感できるイベントです。手ぶらでも参加できる気軽さもいいですね。

- 日時:2018年8月1日(水)15時30分 打ち水開始 15時40分 終了
- 会場:日比谷通り・三田駅付近
- 主催:みなと環境にやさしい事業者会議
- 後援:港区
- 参加事業者:エムオン・エンタテインメント、日本電気、長谷工コーポレーション、三菱自動車工業、森永乳業
- 総参加者数:141名(一般参加者含む)

### 第3回 ハマサイト打ち水大作戦

#### 文化放送のラジオ中継で打ち水大作戦をアピール!



39度という酷暑の中、打ち水開始前に文化放送「大竹まことゴールデンラジオ!」の生中継で、お笑い芸人のカミナリさんから、meccの活動内容や打ち水の紹介、参加事業者のインタビューを交えて全国へ発信していただきました。中継後、参加者で一斉に打ち水を開始、広場全体に打ち水をしました。この会場は、芝浦水再生センターの二次利用水のほかに、三菱自動車工業と港区からの消費期限が迫った防災備蓄水を利用しました。

参加事業者の声  
文化放送 衣笠氏

番組関係者や広報スタッフを中心に参加しました。地元浜松町のラジオ局として、当日の生中継だけでなく、さまざまな番組で、手軽に環境にやさしい「打ち水」を紹介したいと考えています。

- 日時:2018年8月2日(木)13時55分 打ち水開始 14時10分 終了
- 会場:浜松町駅北口交通広場 (ハマサイト広場)
- 主催:みなと環境にやさしい事業者会議
- 後援:港区、プロネクサス、文化放送
- 参加事業者:大林組、ダイフク、日本自動車連盟、プロネクサス、文化放送
- 総参加者数:106名(一般参加者含む)

### 第4回 お台場打ち水大作戦

#### 夏休みのお台場は一般参加者で大盛況!



お台場を訪れている幅広い年齢層の観光客も加わり、ペデストリアンデッキの左右に分かれて一斉に打ち水を行いました。参加事業者からは「多くの一般観光客と一緒に環境活動の取組みを行えるのは、社員教育の後押しにもなり素晴らしい」という感想を頂きました。また、参加賞として全員に東京都の「打ち水お作法手ぬぐい」を、子どもたちには港区の「間伐材パズル」を配布しました。この会場では、芝浦水再生センターの二次利用水を利用しました。

参加事業者の声  
明治学院大学 岩本氏

芝公園での打ち水に続き、本学の学生が参加させていただきました。幅広い世代の観光客の方々と一緒に盛り上がるのは、夏休みのお台場ならではの、学生にとっても、楽しく環境を意識できるひとときとなったようです。

- 日時:2018年8月21日(火)15時30分 打ち水開始 15時40分 終了
- 会場:お台場ペデストリアンデッキ 自由の女神前広場
- 主催:みなと環境にやさしい事業者会議
- 後援:港区
- 参加事業者:サントリーホールディングス、港区、明治学院大学
- 総参加者数:61名(一般参加者含む)



## みなとクリーンアップ大作戦

浜松町付近のクリーンアップ活動を行いました

親子参加や、新入社員の環境教育の場としても！  
今年も炎天下に負けず大量のゴミを集めました。



当日は39度を超える酷暑となり、熱中症対策として冷凍飲料を配布し、活動時間を短縮して実施しました。出発式の後、5チームに分かれてゴミ拾いをスタート。歩道だけでなく、植込みを覗き込みながら熱心にゴミを拾う姿が見られました。今年のみなとタバコルールとのタイアップ企画として、今まで可燃ゴミとしてまとめていたタバコの吸い殻を分別して拾いました。参加者からは「普段は関わりのない部署と一緒に活動ができて、交流の場ともなり有意義だった」や「タバコを分別して拾う目線で見ると、吸い殻が気になるようになった」という感想がありました。参加者には「みなとタバコルール啓発グッズ」を配布しました。

集まったゴミは、可燃ゴミ12袋、不燃ゴミ9袋(1袋30L)。タバコの吸い殻2袋(1袋3L)でした。



- 日時:2018年7月21日(土)9時30分~10時15分
- 会場:港区浜松町付近の道路
- 参加事業者:日比谷総合設備、イー・ギャランティ、NJS、大林組、昭和電工、都築電気、日本通運、PHC、港区(53名参加)

参加事業者の声  
イー・ギャランティ 鈴木氏

私達も働く町、港区で行われたクリーンアップ大作戦。私達にとっては初めての取り組みでしたが、普段とは違う表情の港区と社員に触れられた良い機会だったと思います。少しでも、私達の手できれいになったこの町が、また好きになりました。

## スポGOMI大会inみなと

学生やNPO団体も参加する、区民連携イベントに成長しました

GOMI拾いはスポーツだ!大人も子供も頭脳と身体をフル回転。  
地元小学生チームが大健闘!



決められたコースとルールの中で、スポーツ感覚でゴミを集める「スポGOMI大会inみなと」は今年で4回目となり、会員事業者だけでなく一般参加の応募が増え、都内でゴミ拾い活動を進めるNPO法人や大学生、地元の小学生グループなど合計14チームが集まりました。選手を代表して、昨年優勝した「うさぎさんチーム」が選手宣誓を行いました。大会のルール説明、港区の「みなとタバコルール」の取り組みを紹介後、各チーム3分間の作戦会議を行い、開始の合言葉「GOMI拾いはスポーツだ!」のかけ声とともに新橋駅周辺へ飛び出していきました。



10月とは思えない寒さの中での実施でしたが、新橋中のゴミを探しながら歩き回り、満杯になったゴミ袋を持ち帰る頃には半袖になっているチームもありました。初参加の小学生チームは、大人では気づきにくい目線のゴミを見つけて拾ったり、得点の高いタバコの吸殻を集中的に集めるチームがいたりそれぞれ個性が出ていました。



優勝は、25.35kgのゴミを集めた一般参加の「もぐらさん」チーム、第2位「トロフィーを探せ」チーム(20.25kg)。第3位は地元の小学生チーム「チーム御田小」(11.95kg)でした。上位3チームには表彰状と森ビル提供の「六本木ヒルズ展望台入場招待券」が授与されました。みなとタバコルール賞は、タバコの吸殻を一番集められなかった大学生有志チーム「チームフッ軽」に港区提供の「タバコルール促進グッズセット」を、参加特別賞には、開催日にちなみ13位の「草の根チーム」に東京ガス提供の「再生紙レターセット」が贈られました。また、参加者全員に森永乳業提供の「おいしいたんぱく生活ノート」、東京ガス提供の「エコカーテン」が配られました。



この日集められたゴミは、可燃46.5kg、不燃46.9kg、ビン缶31.2kg、ペットボトル8.65kg、タバコの吸い殻2kg、合計135.25kgとなり、昨年の134.7kgを超えました。

参加事業者の声  
PHC 越智氏

平成世代の汚刺とした姿に刺激を受けながら頑張りました。お世話になっている街がきれいになっていくのはうれしいものです。この日のための準備や、後片付けをしていただいた方々に感謝です。

- 日時:2018年10月13日(土)10時00分~12時30分
- 会場:JR新橋駅周辺
- 協賛:森ビル、森永乳業、東京ガス 中央支店、港区
- 参加事業者:NJS、東京ガス 中央支店、PHC、港区環境課、博報堂(合計14チーム 63名)

## meccセミナー

最新の環境動向を知る、会員事業者の活動を発展させるセミナーを開催

### 第1回 meccセミナー

#### 「SDGsの現状と展望 ～SDGsを活用して、飛躍するために～」



今年度のmeccセミナーはSDGsを年間テーマとし、総会に続いて行われた第一回では、SDGsパートナーズの田瀬氏をお招きして講演をいただきました。急激なグローバル化により社会課題が拡大複雑化し、「環境と持続可能な流れ」にマッチングさせた長期共存戦略である「SDGs」。17分野169の壮大な目標を立てたことは評価できるが、SDGsには、法的拘束力がない点や実現方法や財源も特定されていない点など課題点もあると話されていました。SDGsはそれぞれの目標が相互に結びついていると理解することが重要であり、1つの目標を達成するために施策を実施するのではなく、さまざまな要因の相互作用を理解し、多数の目標達成に向け、さまざまな状況改善につなげることの大切さを話されました。また地方自治体や内閣府のSDGsの取組みも紹介頂きました。

- 日時：2018年5月23日(水)16時10分～17時10分
- 講師：SDGパートナーズ有限会社 代表取締役CEO 田瀬和夫氏
- 参加事業者：アクセンチュア、NJS、NECキャピタルソリューション、エムオン・エンタテインメント、大林組、オイシックス・ラ・大地、鹿島建設、カワセ印刷、サントリーホールディングス、ダイフク、知識経営研究所、都築電気、DSM、テクノプロ・ホールディングス、東京ガス 中央支店、東京放送ホールディングス、ニコン、西松建設、日本自動車連盟、日本通運、日本電気、博報堂、PHC、フィリップ モリス ジャパン、プロネクス、文化工房、文星閣、ベネッセコーポレーション、三井倉庫ホールディングス、三菱自動車工業、港区、明治学院大学、森永乳業、森ビル、ヤマハ、横浜ゴム、リコージャパン(57名参加)

### 第2回 meccセミナー

#### 「SDGsと私たちの暮らしの水」



第2回のmeccセミナーでは、私たちの生活に欠かせない水についてアクアスフィア水教育研究所の橋本氏に講演いただきました。普段どのくらいの水を使用しているのか、世界の中で日本が置かれている状況など、当たり前に使っている水の現状を学びました。その後、水が抱えているさまざまなリスクを、用意された40個のテーマシートを元にワークショップ形式で話し合いました。後半は、世界の水リスクについて企業が出来る取組みを紹介いただきました。企業が水リスクをプラスに転換するための3つの段階があることや、リスクと影響を管理し、地域や流域の行政・市民と水問題解決にむけてアクションを起こすことが企業のブランドイメージ向上にもつながると話されました。

参加事業者の声  
NEC 八代氏

身近なお水がテーマで考えさせられることが多かったです。意外と知らない水のトピックスやSGDsにもつながる内容があり、理解が深まりました。また講演だけでなくワークショップもあり問題点を共有できたので良かったです。

- 日時：2018年7月18日(水)15時30分～17時00分
- 講師：アクアスフィア水教育研究所 橋本淳司氏
- 参加事業者：サントリーホールディングス、日本電気、博報堂、港区、森ビル、横浜ゴム 総参加者数：12名(一般参加者含む)

### 第3回 meccセミナー

#### 【1部】「パリ協定・SDGs対応の企業経営とイノベーション」～2015年以降にすべてが変わった～ 【2部】「スターバックスの取組みとサステナビリティ」



第3回のmeccセミナーでは、meccEXPOとの連携企画として、BtoB、BtoC向けの2本立てで開催しました。

BtoB向けのセミナーは、東京大学名誉教授 安井氏に講演いただきました。世界では、SDGsへの対応が非常に速いなか、日本企業の取組みの遅さを懸念し、日本が先進国で最も長寿企業が多いこと、企業の考え方の違いも指摘していました。今後日本企業がSDGsに取り組んで行くなかで、パリ協定を再度理解し、しっかりと実行に移していくことが大切と述べられました。

BtoC向けには、スターバックス コーヒー ジャパン 高島氏に講演いただきました。プラスチック製ストローの廃止を宣言した先進企業です。店舗デザインの観点から消費者とサステナビリティを結びつけていました。まず地域性を重要視し、外見は地域に根づくデザインを選出。内装は間伐材などの国産木材を多く使い、自然とのつながりが感じられる雰囲気を出しています。また、LEED(米国グリーンビルディング協会が開発、運営する環境性能評価システム)にも積極的に取り組んでおり、国内60店舗が認証を取得しているそうです。

- 日時：2019年1月24日(木)15時10分～17時00分
- 講師：東京大学名誉教授・国際連合大学元副学長 安井 至氏  
スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社  
店舗開発本部 店舗設計部 高島 真由氏
- 参加事業者：NECキャピタルソリューション、オイシックス・ラ・大地、鹿島建設、昭和電工、都築電気、東京ガス 中央支店、ニコン、日本通運、PHC、プロネクス、三井倉庫ホールディングス、明治学院大学、森永乳業、森ビル、リコージャパン(29名参加)



参加事業者の声  
NECキャピタルソリューション 三栖氏氏

安井氏・高島氏ともに想いが伝わる熱い講演でした。「justice」の視点によってパリ協定やSDGsへの理解を深めることができたことが大きな収穫でした。スターバックスのLEED認証店舗がとてもステキで、機会があればぜひ行ってみたいです。

# mecc EXPO

エコプラザに来館する区民などへの情報発信の場として

## 会員事業者の取組みを一堂に展示



1月4日～1月30日の約1ヶ月間、港区立エコプラザにて各会員事業者の取組みをまとめて区民に発信するイベント「mecc EXPO」を開催しました。3回目の開催となった今回は、事業者の展示方法がさらに工夫され、クイズ形式のものや、実際の製品を手にとって学べる体験型のもので多くありました。会場レイアウトは各通路にテーブルを配置したことで、自然と展示エリアに来場者が集まる空間となりました。テーブルには「企業と環境展」で作成したテーブル広告を転用し貼り出しました。参加事業者が用意した感想ノートにも意見が寄せられるなど、事業者と来場者をつなぐ好例も生まれました。会期中には第3回meccセミナーを開催し、多くのCSR担当者が来場しました。空き時間に自社コーナーで解説を行うなど、各事業者の取組みを知り情報交換する場となりました。



- 日時：2019年1月4日(金)～1月30日(水)
- 会場：港区立エコプラザ 1階展示スペース
- 展示協力：イー・ギャランティー、NECキャピタルソリューション、エムオン・エンタテインメント、オイシックス・ラ・大地、笠井設計、鹿島建設、カワセ印刷、サントリーホールディングス、世紀東急工業、テクノプロ・ホールディングス、東京ガス 中央支店、東京放送ホールディングス、ニコン、西松建設、日本自動車連盟、日本通運、博報堂、PHC、フィリップ モリス ジャパン、プロネクサス、文化放送、文星閣、ベネッセコーポレーション、三井倉庫ホールディングス、港区、明治学院大学、森永乳業、森ビル、ヤマハ、横浜ゴム、リコー ジャパン、ROSSO、みなと環境にやさしい事業者会議 (合計33事業者)

### 参加事業者の声 三井倉庫ホールディングス 今野氏

当社は、環境配慮型印刷用紙「LIMEX」の原料である石灰石による「アップサイクルとエコ循環の学び」というテーマで、製造元の(株)TBM様との共同展示で参加しました。嬉しかった事は、親子で来場の方より直接お褒め頂いた事です。



# meccツアー

先進的なオフィスや環境関連施設などの視察を行っています

## ゴミの中間処理や埋立地の現状を知り 改めてゴミの出し方やリサイクルの必要性を認識



前半は、東京都環境局職員の方からゴミ処理場の移り変わりや、集まったゴミの中間処理方法(埋め立てる前の分別や焼却、粉碎処理など)から、埋立方法を解説頂きました。後半は、バスに乗りながら処理施設を見学しました。23区からのゴミが集まるこの施設は、粗大ゴミを破砕する唯一の処理場で、布団は1日3,000枚、畳は1,000枚届くそうです。ベッドのマットレスはスプリングと綿や生地を手作業で分けるなど、大変な手間がかかっています。埋立場では、ゴミによる害虫発生調査や、ゴミから出るメタンガスによる火災を防ぐためガス集積管を地中を通しエネルギー源としての再利用や、海沿いにフェンスを建設しゴミの海洋拡散を防ぐなどさまざまな取組みが行われていました。広大な敷地にみえても、埋立地としてはあと50年しかもたないと予測されています。現在の中間処理方法ではこれ以上ゴミの体積を小さくすることは難しく、ゴミ自体を減らすには個人レベルでの努力が必要と説明がありました。

- 日時：2019年3月13日(木)9時00分～11時30分
- 場所：東京都廃棄物埋立処分場
- 参加事業者：アクセンチュア、NECキャピタルソリューション、東京ガス 中央支店、日本通運、PHC、森ビル、港区、みなと環境にやさしい事業者会議

### 参加事業者の声 アクセンチュア 田中氏

一都民の立場でごみの行方がとても気になり、ツアーに参加しました。今後使い捨て生活が続けることは困難であり、自身の生活ゴミ削減にも取り組みたいです。次世代の為に地球のリソースを枯渇させない社会への切替えが国策として急務と考えます。

※6月20日 第1回meccツアーは、雨天のため中止となりました。

## ゴミ処理に関連した過去のmeccツアー

事業系のゴミはどうやって処理される？

### 事業系廃棄物処理 「パシフィックネット テクニカルセンター」 見学会

IT機器の処分や機密データの消去、PCのリサイクル・リユースの業務フローを見学しました。2016年3月実施。



ゴミの埋立地。将来は緑豊かな海上公園に！

### 中央防波堤内側埋立地 「海の森 -umi no mori-」 見学会

土とゴミを交互に重ねるサンドイッチ工法や、都民・企業との協働で植えられた植栽地を見学しました。2016年9月実施。



リユース・リサイクルでゴミの減量を！エコバザーにご協力ください。(6p参照)

meccは、地域、区民、企業が一体となり  
 発信・参加・学習することで新しいアイデアがカタチになる  
 活気ある場を提供しています。  
 mecc会員になって、一緒に活動しませんか？



### meccに参加するには？

みなと環境にやさしい事業者会議は  
 企業の環境活動、CSR活動、省エネ活動などの問題点に地域、区民、企業が同じ立場にたち  
 業種も立場も異なるさまざまな事業者たちが同じ目線で出会える場になりたいと思っています。  
 環境に対する、互いの意識を高めあえる場に、  
 そして、アイデアが次々にカタチになっていく活気のある場を提供しています。  
 また、会員事業者の皆様における地球環境問題の解決に向けた積極的な取組みを支援しています。  
 イベントやボランティアの参加企画をご紹介します。  
 関心のあるテーマにかかわるイベントや、お近くで開かれる催し物に、ぜひ参加してみてください。

### 「みなと環境にやさしい事業者会議」のめざすところ

- 地域をコアに地球規模でひろがる環境情報の受発信基地
- CO<sub>2</sub>削減に向けた全国に先駆ける「みなとモデル」の創出
- CSR活動に還元できるコンソーシアムとしての取組み
- 業種を超えたユニークな協働のネットワークの社会実験



「みなと」にかかわりがあり、地域社会と地球環境への貢献に関心のある事業者。  
 事業規模の大小、法人の形態(株式会社、各種機関、NPO、個人事業者等)を問いません。



5万円(1口)  
 ◎会費等は、事業運営費等に充てられます。



- ・ 総会の開催(年1回)
- ・ 「企業と環境展」の開催(年1回)
- ・ 分科会の開催(事業の内容に応じて)
- ・ 各イベントの実施(打ち水、クリーンアップなど)
- ・ meccセミナーの開催
- ・ meccツアー(視察・見学ツアー)の実施

### 2018年度mecc会員一覧

(五十音順)

- |                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| アクセント株式会社           | 日本たばこ産業株式会社        |
| あすか製薬株式会社           | 日本通運株式会社           |
| 株式会社安藤・間            | 日本電気株式会社           |
| イー・ギャランティ株式会社       | 日本道路株式会社           |
| NECキャピタルソリューション株式会社 | 株式会社博報堂            |
| 株式会社NJS             | 株式会社長谷工コーポレーション    |
| 株式会社エムオン・エンタテインメント  | PHC株式会社            |
| オイシックス・ラ・大地株式会社     | 日比谷総合設備株式会社        |
| 株式会社大林組             | フィリップ モリス ジャパン合同会社 |
| 笠井設計株式会社            | 株式会社プロネクサス         |
| 鹿島建設株式会社            | 株式会社文化工房           |
| カワセ印刷株式会社           | 株式会社文化放送           |
| サントリーホールディングス株式会社   | 株式会社文星閣            |
| 株式会社シュガーアンドスパイス     | 株式会社ベネッセコーポレーション   |
| 昭和電工株式会社            | 本田技研工業株式会社         |
| 世紀東急工業株式会社          | 丸新運輸株式会社           |
| 株式会社ダイフク            | 三井倉庫ホールディングス株式会社   |
| 株式会社知識経営研究所         | 三菱自動車工業株式会社        |
| 都築電気株式会社            | 港区                 |
| DSM株式会社             | 明治学院大学             |
| テクノプロ・ホールディングス株式会社  | 森永乳業株式会社           |
| 東京ガス株式会社 中央支店       | 森ビル株式会社            |
| 株式会社東京フォレストパワー      | ヤマハ株式会社            |
| 株式会社東京放送ホールディングス    | 横浜ゴム株式会社           |
| 株式会社ニコン             | リコージャパン株式会社        |
| 西松建設株式会社            | 株式会社ROSSO          |
| 一般社団法人 日本自動車連盟      |                    |